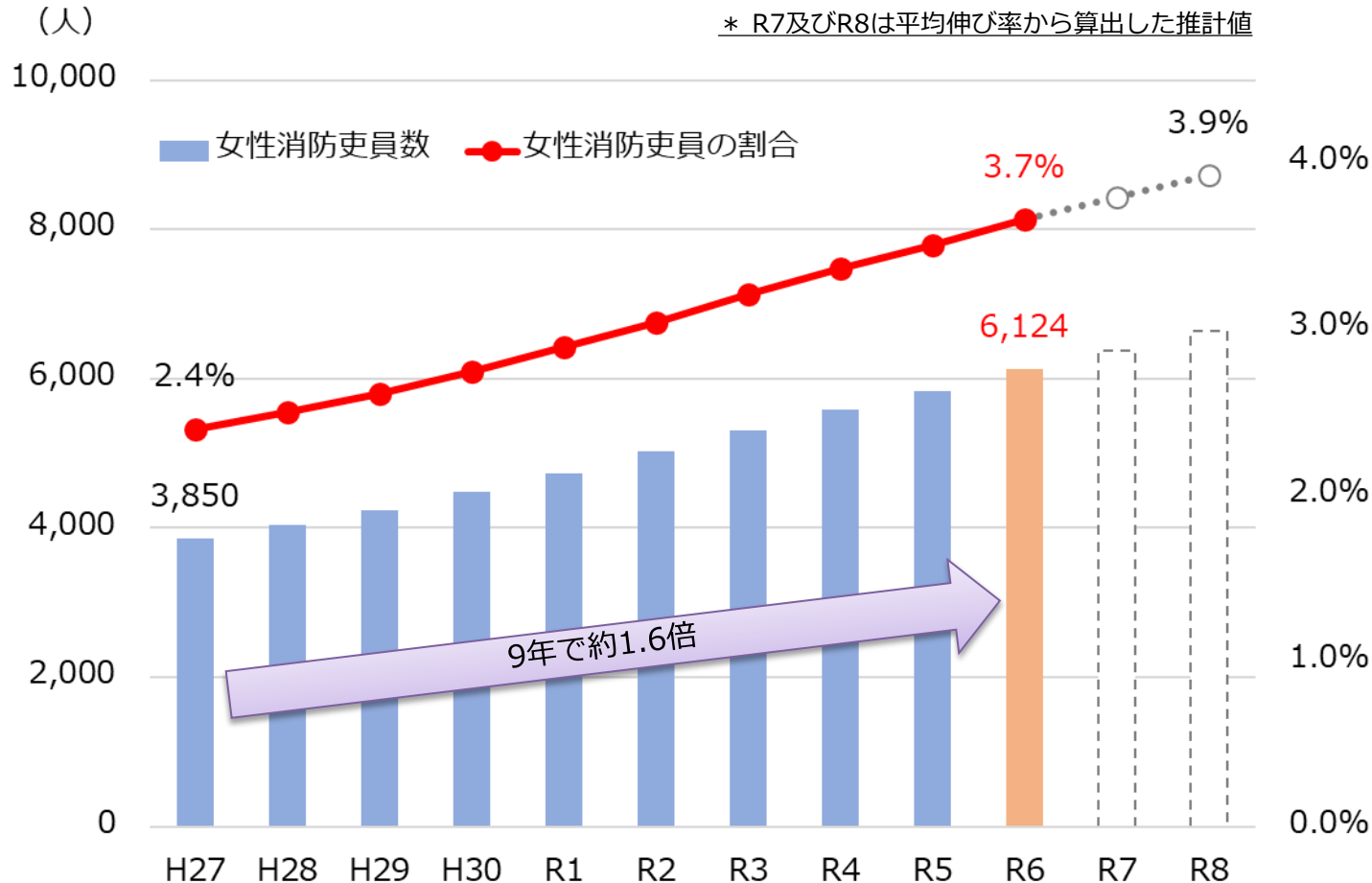


資料 1 女性消防吏員の現況

女性消防吏員数及びその割合の推移

資料 1 - 1

○ 女性消防吏員数及びその割合は着実に増加している



「消防防災・震災対策現況調査」の結果より。各年4月1日現在の数値。

女性の割合

警察官

11.7% (R6.4.1)

※「令和6年版 警察白書」より

自衛官

8.9% (R6.3.31)

※「令和6年版防衛白書」より

海上保安庁

9.5% (R6.4.1)

※女性職員を含む

国家公務員

26.1% (R6.7.1)

※「一般職国家公務員在職状況統計表」より
※行政職俸給表(一)適用者

地方公務員

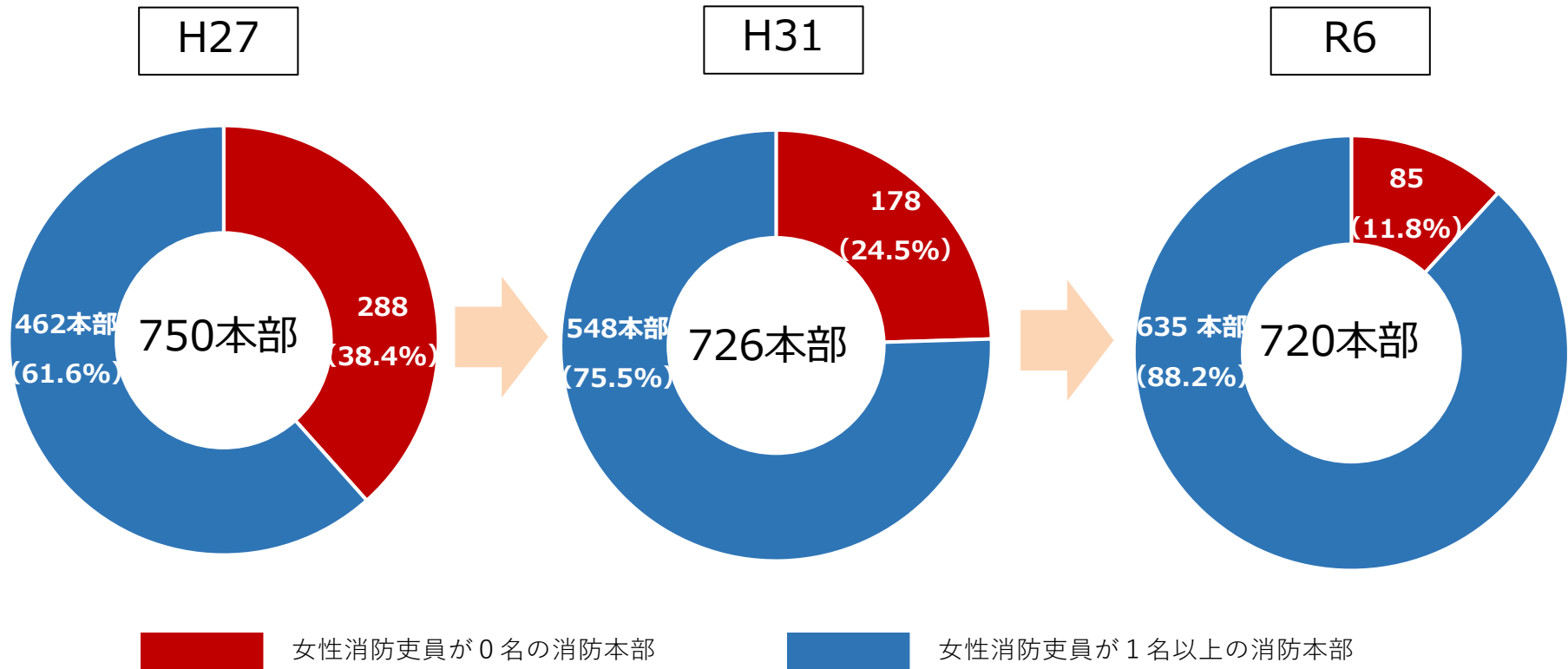
34.0% (R5.4.1)

※「令和5年地方公務員給与実態調査」より
※一般行政職

女性消防吏員が0名の消防本部数の推移

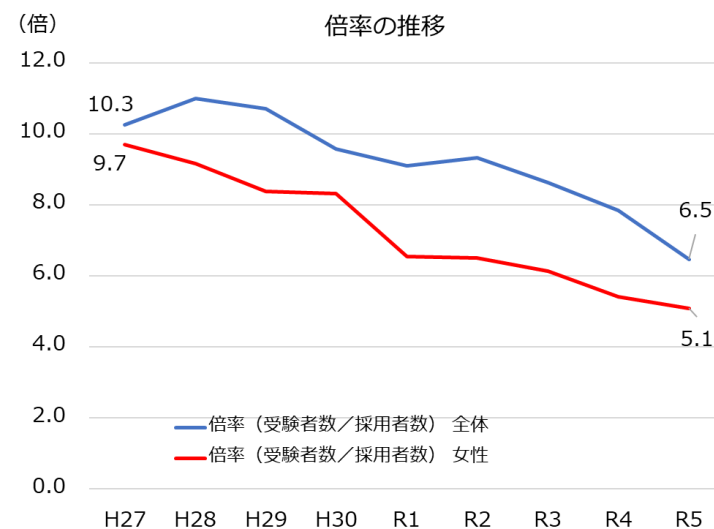
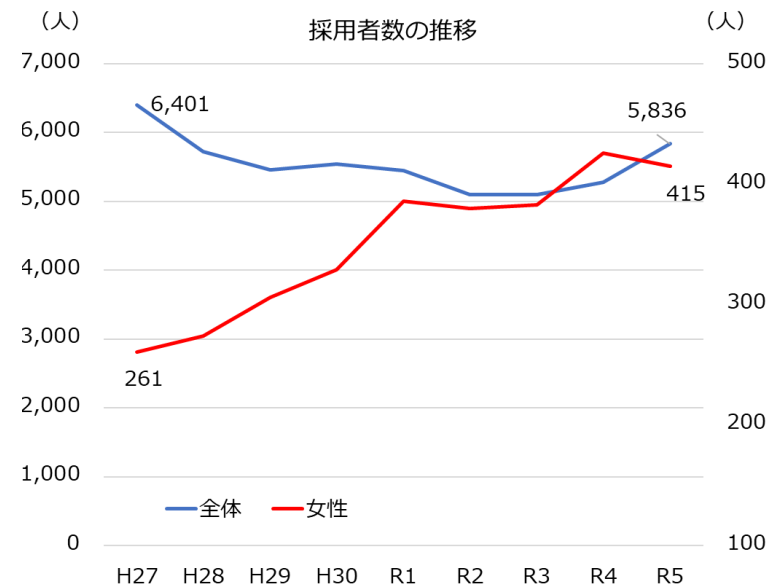
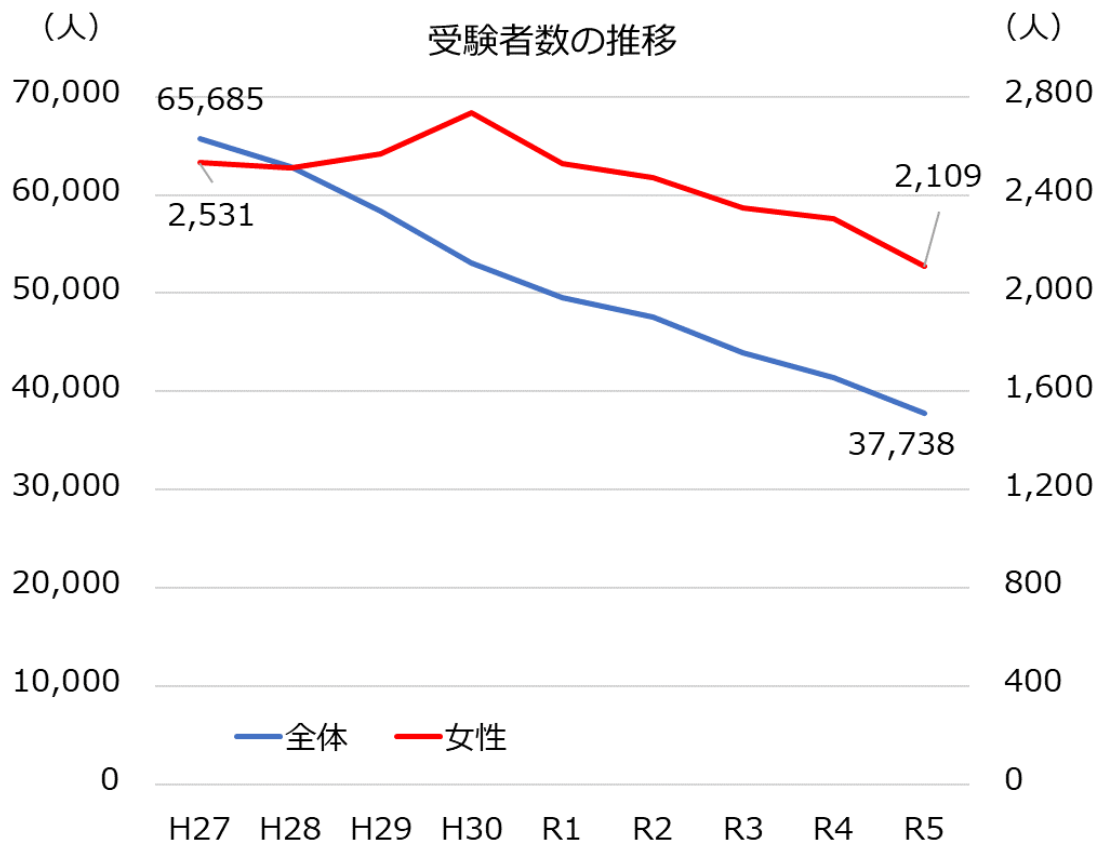
資料 1-2

- 女性消防吏員が0名の消防本部数は、毎年減少している（H27→R6で約7割減）
- 85本部（R6）のうち、72本部（約85%）が100人未満の消防本部



女性消防吏員の採用状況

資料 1-3

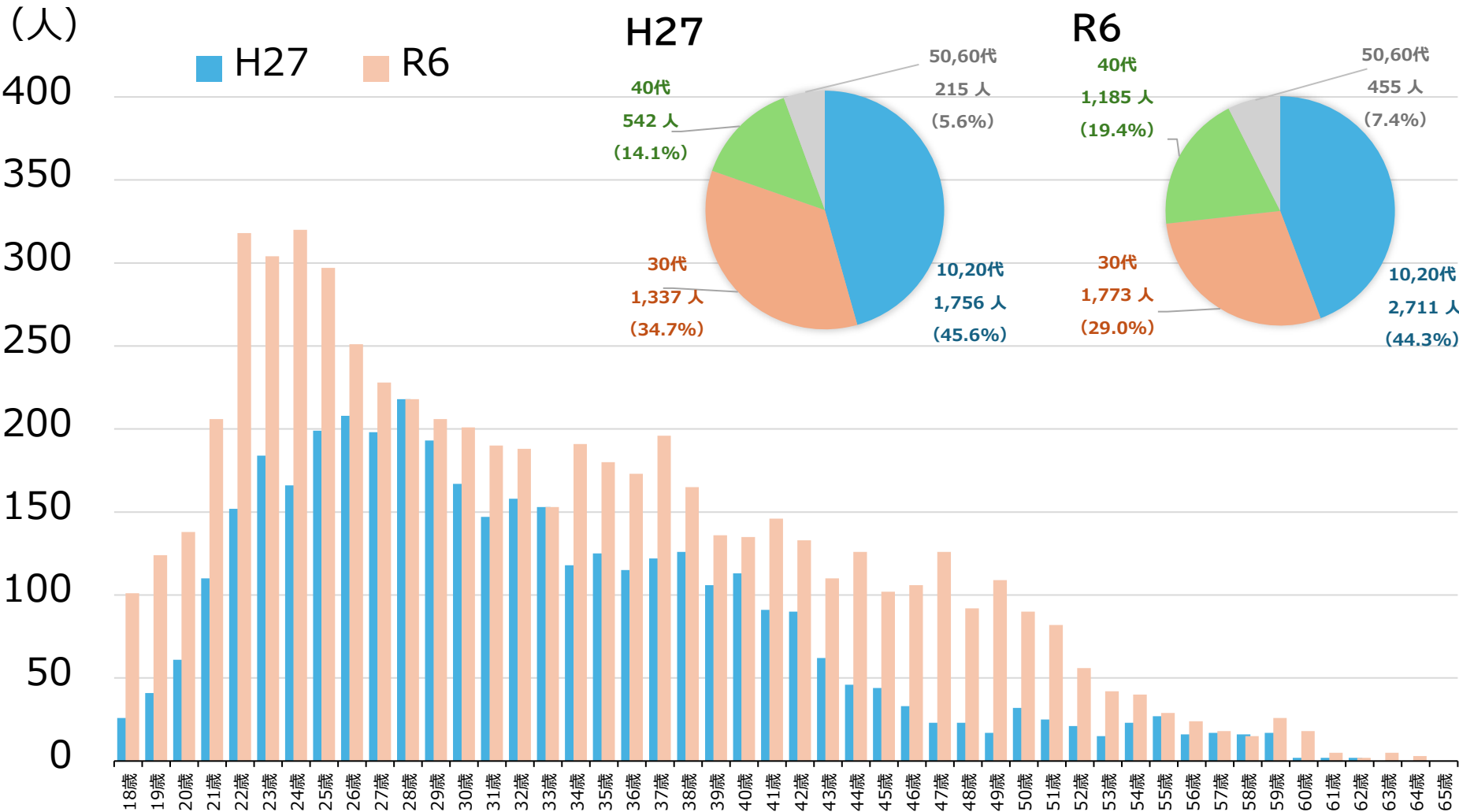


- 女性の受験者数は減少傾向 (H27→R5で約17%減少)
- 女性の採用者数は増加傾向 (H27→R5で約1.6倍)
- 女性の採用者数に対する受験者数の倍率は低下傾向であり、男性よりも低い

年齢別女性消防吏員数

資料 1 - 4

○ 20代前半、40代及び50代前半を中心に女性消防吏員が増加

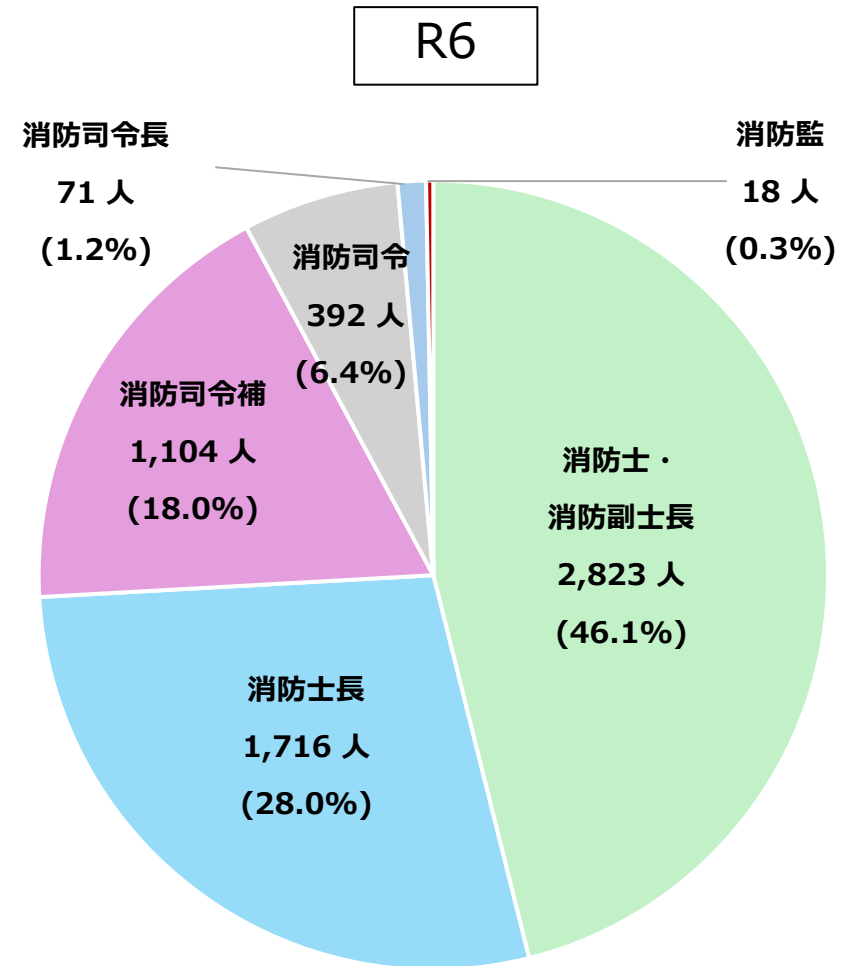
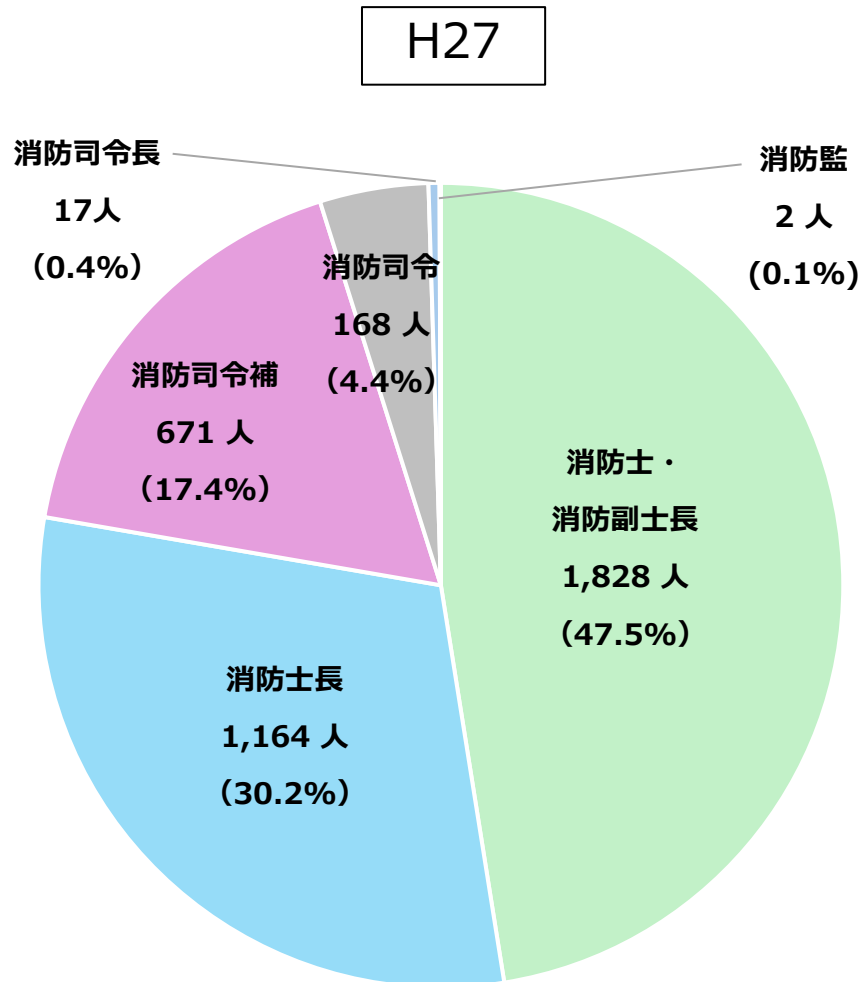


「消防防災・震災対策現況調査」の結果より。各年4月1日現在の数値。

階級別女性消防吏員の割合

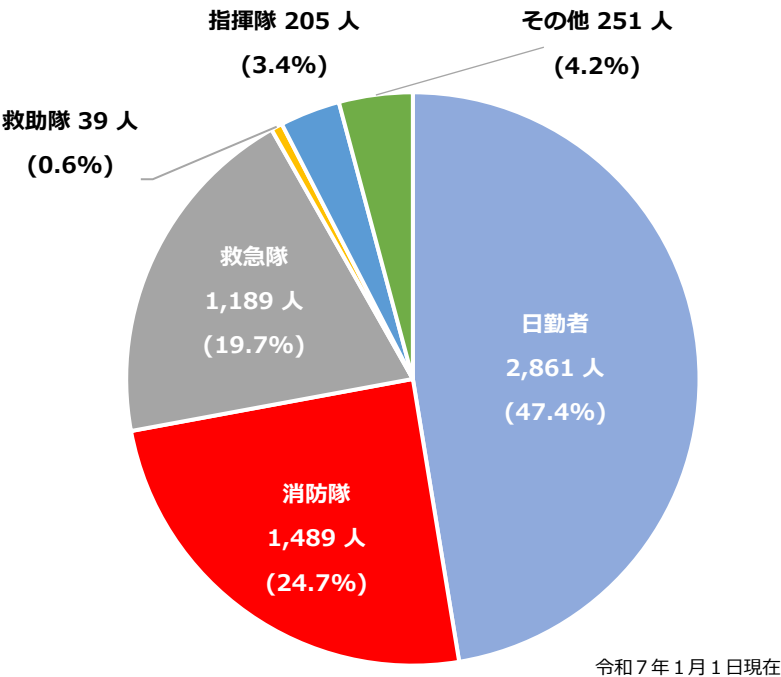
資料 1-5

○ 消防司令補以上の階級の女性消防吏員の割合が増加（H27：22.3% → R6：25.9%）



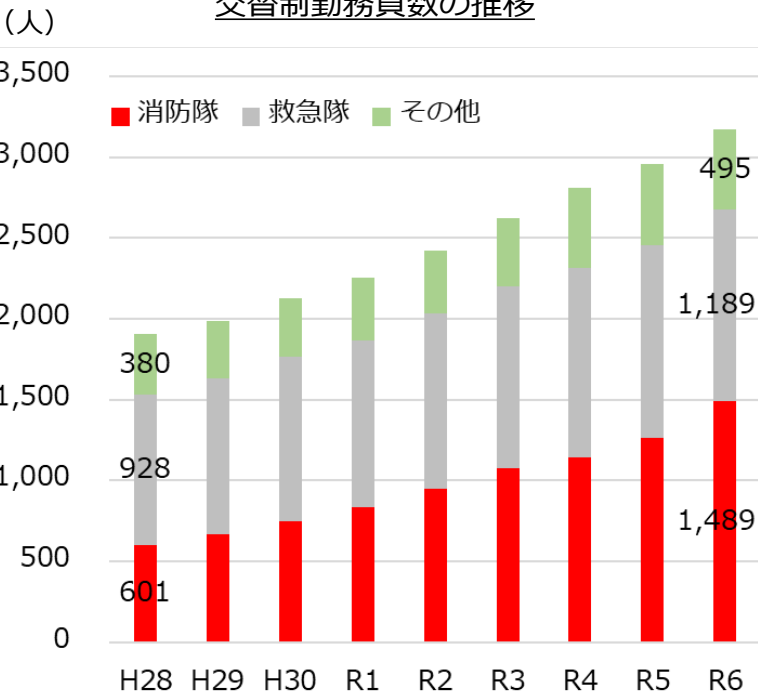
女性消防吏員の職域の拡大

- 女性消防吏員の半数が交替制勤務員
- 交替制勤務員は年々増加（消防隊員は約 2.5 倍に増加）
- 近年では救助隊員や緊急消防援助隊員としても活躍



「令和 6 年度女性消防吏員の更なる活躍に向けた取組等に関する調査」の結果より

交替制勤務員数の推移



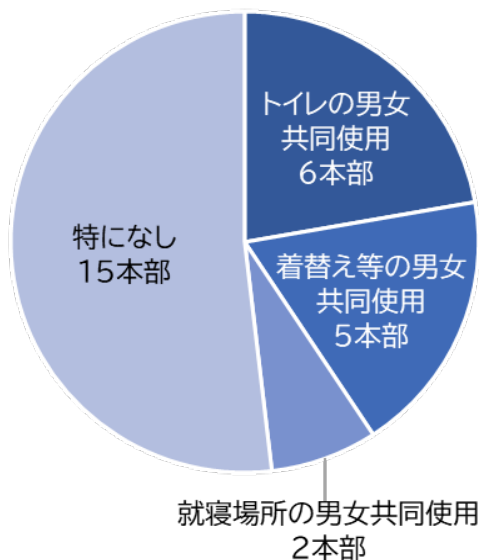
「令和 6 年度女性消防吏員の更なる活躍に向けた取組等に関する調査」の結果より

能登半島地震における女性消防隊員の出動状況

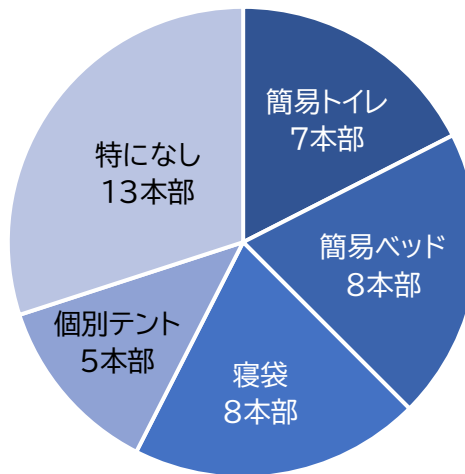
- 緊急消防援助隊として出動した女性消防隊員数：24消防本部から71名
- 後方支援活動（宿営地の衛生管理、隊員の食事管理、設営・撤収作業等）、倒壊家屋からの救出活動、救急活動、消防車両の運転、指揮支援業務、通信支援業務、記録・広報活動等を実施
- 女性隊員の出動を想定し、女性隊員用の簡易トイレ、簡易ベッド、寝袋、個別テントといった資機材を準備している消防本部もあった

女性隊員を派遣した消防本部（24本部）へのアンケート結果（抜粋）

女性隊員の活動に関して 困ったこと

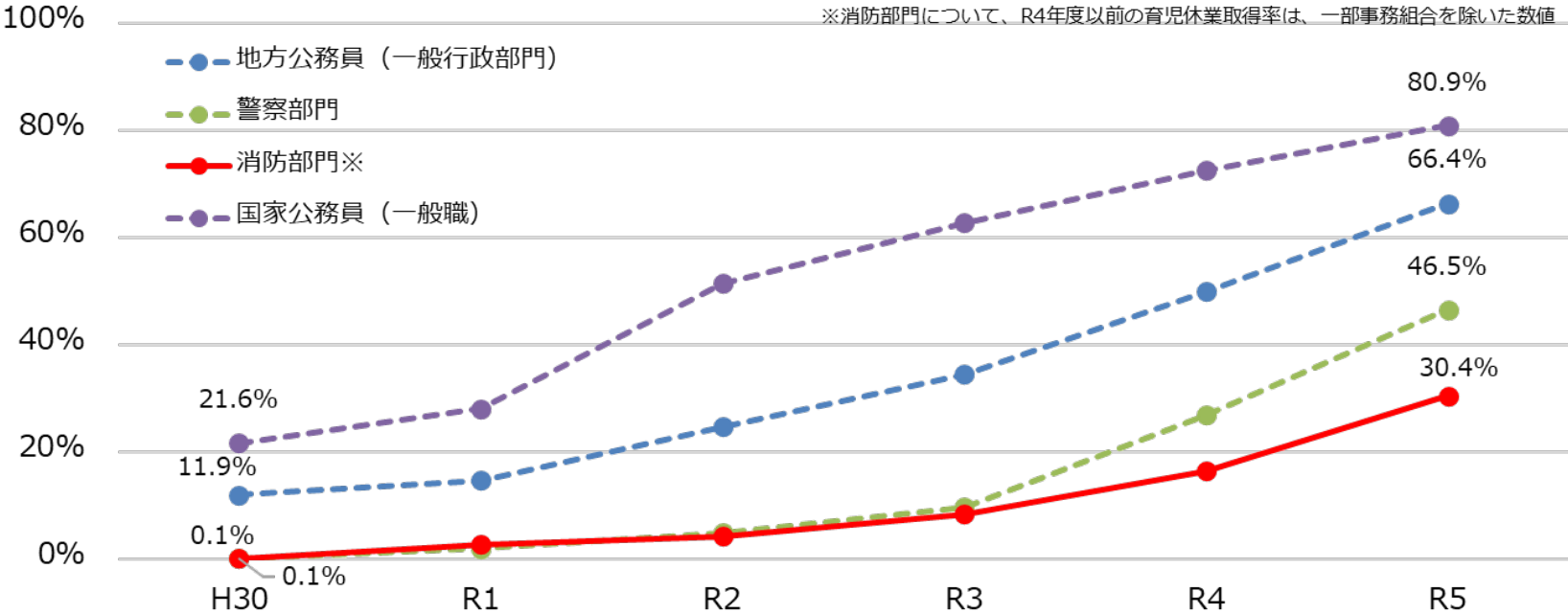


女性隊員が出動するため 準備している資機材



男性職員の育児休業取得状況

資料 1-8



（参考）女性消防職員の育児休業取得状況
100.6%（R5.4.1）

男性職員の育児休業取得率（警察部門（都道府県）・消防部門（都・指定都市））の上位団体

【警察部門（都道府県）】

団体名	令和 5 年度取得率	令和 4 年度取得率
1. 福島県	132.2%	68.9%
2. 鳥取県	116.9%	63.2%
3. 島根県	95.1%	27.3%

【消防部門（都・指定都市）】

団体名	令和 5 年度取得率	令和 4 年度取得率
1. 福岡市	104.6%	51.3%
2. 岡山市	77.3%	37.5%
3. さいたま市	68.0%	41.8%